

# 令和元(2019)年度事業報告

## I. 一般会務

### 1. 協会の構成(令和2年3月31日現在)

顧問	2名
理事	14名
監事	2名
評議員	11名
事務職員	21名(常勤嘱託9名、非常勤嘱託2名含む)

## 2. 会議

### (1) 理事会

#### 1) 令和元(2019)年度第1回理事会

開催日時: 令和元年6月10日(月曜日) 14時~16時15分

会場: 横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜4階 やまゆり

議案: 第1号 平成30年度事業報告及び決算承認の件

第2号 平成31年度収支予算一部変更承認の件

第3号 令和元年度第1回評議員会招集の件

議決: 原案通り承認可決された。

#### 2) 令和元年度第2回理事会

議案: 第1号 業務執行理事選定の件

議決: 原案通り承認可決された。

(令和元年7月12日 書面または電磁的記録による)

#### 3) 令和元年度第3回理事会

議案: 第1号 代表理事選定の件

議決: 原案通り承認可決された。

(令和元年9月27日 書面または電磁的記録による)

#### 4) 令和元年度第4回理事会

議案: 第1号 令和2年度事業計画及び収支予算案承認の件

第2号 令和元年度第3回評議員会開催の件  
議 決：原案通り承認可決された。  
(令和2年3月13日 書面または電磁的記録による)

(2) 評議員会

1) 令和元年度第1回評議員会

開催日時：令和元年6月26日(水曜日) 14時～16時  
会 場：横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜4階 セミナールーム2  
議 案：第1号 平成30年度事業報告及び決算承認の件  
第2号 平成31年度収支予算一部変更承認の件  
第3号 理事の改選・選任の件  
議 決：原案通り承認可決された。

2) 令和元年度第2回評議員会

議 案：第1号 理事(代表理事)の辞任の件  
議 決：原案通り承認可決された。  
(令和元年9月20日 書面または電磁的記録による)

3) 令和元年度第3回評議員会

議 案：第1号 令和2年度事業計画及び収支予算案承認の件  
議 決：原案通り承認可決された。  
(令和2年3月23日 書面または電磁的記録による)

(3) 業務執行理事会

1) 令和元年度第1回業務執行理事会

開催日時：令和元年6月3日(月曜日) 14時～16時  
会 場：横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜4階 セミナールーム10  
議 題：  
① 令和元年度第1回理事会について  
② 役員の改選について  
③ 第60回海外日系人大会について  
④ 国際日系デーについて  
⑤ 記念誌の発行について

2) 令和元年度第2回業務執行理事会

開催日時：令和元年9月13日(金曜日) 14時～16時

会 場：横浜市中区新港 2-3-1 JICA 横浜 4階 セミナールーム 5  
議 題：

- ① 第 60 回海外日系人大会について
- ② 記念誌発行について

3) 令和元年度第 3 回業務執行理事会

開催日時：令和元年 11 月 20 日(金曜日) 14 時～16 時

会 場：横浜市中区新港 2-3-1 JICA 横浜 4階 セミナールーム 4  
議 題：

- ① 第 60 回海外日系人大会振り返り
- ② 第 61 回海外日系人大会について
- ③ 「日系四世の更なる受入制度」に係る支援並びに調査業務

4) 令和元年度第 4 回業務執行理事会

開催日時：令和 2 年 3 月 4 日(水曜日) 14 時～16 時

会 場：横浜市中区新港 2-3-1 JICA 横浜 4階 セミナールーム 9  
議 題：

- ① 令和元年度第 4 回理事会について
- ② 第 61 回海外日系人大会企画案について
- ③ 記念誌発行について

## II. 事業の実施

### 1. 海外日系人大会開催事業

本事業は、年1回、海外在住の日系人が本邦で一堂に会し、相互の親睦を深め、日系社会の課題や日系社会間あるいは日系社会と日本との協力の方途について考えることを目的としている。

令和元年度においては、「令和の日本と国際化の架け橋・日系社会」をテーマに開催した。

初日(10月1日)は、憲政記念館において、天皇皇后両陛下ご臨席のもと記念式典を開催し、天皇陛下よりおことばを賜った。海外日系人からのビデオメッセージや武蔵大学社会学部教授アンジェロ・イシ氏による基調講演の後、夕刻からは歓迎交流会を開催した。2日目(10月2日)の国際シンポジウムでは、「在日日系30年の経験ー日本社会の内なる国際化を見据えて」、「日系資料館の連携を考えるーレガシーを共有するために」、「日系社会との連携を考えるーネットワークとアイデンティティを生かして」の3テーマについて、パネル・ディスカッションを行った。討議の結果は大会宣言として採択された。同日夕刻からは茂木敏充外務大臣主催歓迎レセプション、翌3日目(10月3日)には、衆参両議院議長主催歓迎昼食会が行われた。

また、9月29日には、関連イベントとして、株式会社第一興商の協賛により「第4回国際日系歌謡大会」を開催し、出場者・観覧者の双方より好評を得た。

開催日：令和元年10月1日～10月3日(3日間)

開催場所：憲政記念館、JICA 市谷ビル

総合テーマ：令和の日本と国際化の架け橋・日系社会

参加者数：19カ国、191名

### 2. 内外日系社会広報事業

#### (1)「ニッケイ・ネットワーク(海外日系人協会だより)」紙発行

当協会の実施事業、移住者・日系人・日系社会にまつわる国内外の情報、日系人相談センター相談事例等を発信するものである。令和元年度においては、4回(41号～44号)、各号2,000部を発行し配送した。60回の節目を迎えた海外日系人大会の開催報告をはじめ、ペルー、ボリビアの日本人移住120周年記念式典、日系研修コース、留学生、世界各地で活躍する日系人の紹介等、日系人・日系社会にまつわる国内外のトピックを幅広く掲載した。

#### (2)協会 WEB サイト・国際日系ネット運営

Facebook や Twitter との連動、クレジットカードの WEB 決済導入等により年々 WEB サイトの充実と利用者の利便性向上を図っている。引き続き WEB サイトおよび SNS を

通じた訴求力のある情報発信を心がけたほか、第59回海外日系人大会の大会宣言において制定された「国際日系デー」のPRのための動画キャンペーンを展開した。6月には、同キャンペーンにより集まった動画を編集し上映する等、国際日系デーに関する展示をJICA内で行った。

尚、国内外の日系社会並びに関係機関との相互の情報交換の場として当協会WEBサイト内に運営している国際日系ネットについては、掲載情報の更新並びに参加団体の増加を図った。

### **(3)海外日系新聞放送協会支援**

本業務は、海外に所在する日系新聞・ラジオの報道機関21社により組織され、当協会に事務局を置く「一般社団法人海外日系新聞放送協会」が、日本において開催する年次総会および主催事業を支援するものである。

令和元年度は、10月に東京において第46回年次大会(参加者は4カ国7名)の開催を支援した。さらに、安倍首相が海外の元首と会談した際の政府広報に関わった。

## **3. 在日日系人対応事業**

### **(1)日系人相談センター**

本業務は、海外日系人協会内に設置されている「日系人相談センター」の常設電話窓口において、日系人からの生活相談等に対し、対処方法の指導、知識・情報の提供、関係機関・団体の紹介・取り次ぎ等を日本語、スペイン語、ポルトガル語により実施するものである。更に、機関紙「ニッケイ・ネットワーク(海外日系人協会だより)」(No. 41～44)の中で、実際の相談事例とその対応について紹介し、日系人の生活や就労等に係る情報を提供している。

令和元年度においては、就労ビザ、年金、労災等に関する相談のほか、新たに始まった日系四世の更なる受入制度についての質問や相談が多くみられた。また、日本国内の中小企業や人材派遣会社等から、国内外における日系人の雇用に関する相談も複数あった。計316名、399件の相談に対応した。

### **(2)在日日系人のための生活相談員セミナー**

各地方自治体や地域の国際交流協会等においては、日系人に係る種々の問題に対処すべく、相談窓口が設置され相談業務が実施されている。

本業務は、当協会が設置している日系人相談センターの業務を軸として、地方自治体等の相談担当者間の連携強化や、情報・知識の共有を図り、相談対応業務の円滑化を図ることを目的としている。

令和元年度においては、下記のとおりセミナーを開催した。

開催日：令和2年2月6日(木曜日)

開催場所: JICA横浜

テーマ: 「在日日系人を中心とした子どもへの日本語指導の現場から」等

参加人数: 58名

#### 4. 日系社会との連携強化事業 日系社会視察の旅

本事業は、主として、ブラジル、アルゼンチン等の海外日系社会の視察を通じ、移住者・日系人支援事業の理解を深めるとともに移住者・日系人との交流を促進することを目的として実施してきた。

令和元年度は、ブラジルのサンパウロ、リオデジャネイロ、およびパラグアイのイグアス移住地の視察と現地婦人部との交流を主とした企画・募集を行ったが、最少催行人数に達しなかったため実施には至らなかった。

#### 5. 継承日本語教育事業

本事業は、日系社会において親から子へと世代とともに継承されていくべき日本語教育の普及を目的として当協会内に設置した「継承日本語教育センター」を運営するものである。

令和元年度においては、そのノウハウを日系研修の日系継承教育コース・日系日本語学校の運営管理コース・日本文化活動コーディネーター育成コース等プログラムやJICA 海外協力隊向け技術補完研修の日系日本語教授法集合研修プログラム策定に活用し、さらに、同研修において「継承日本語教育の実践と方法」「南米日本語教育事情と日系継承教育」等について講義を行った。

また、JICA に許諾を得て、当協会ホームページ内で、JICA 製作の「にほんごドレミ」「にほんごジャンプ」「にほんごチャレンジ」について教科書本冊または教師用マニュアル等について閲覧できるよう公開した。

#### 6. ブラジル移住者里帰り訪日使節団事業

本事業は、国際社会の相互理解と日本ブラジル2国間における友好親善の促進に寄与することを目的として、ブラジル移住の先駆者をその子孫も含めて招へいするものである。令和元年度は、平成30年度の招へい者らが中心となって組織し、ブラジルの日系レガシー共有のため活動している「架け橋プロジェクト」のメンバー2名を、10月に東京にて開催した第60回海外日系人大会に招へいした。招へい者2名は、パネル・ディスカッションおよび「日系人の主張」(5分間スピーチ)にそれぞれ登壇し、プロジェクトの活動等について報告を行った。

なお、本事業は、竹内政司氏による指定寄付金を財源とするブラジル日本文化福祉協会との共同事業であり、当協会は、招聘者の来日および日本滞在の手配、来日中のプログラムを企画実施した。

## 7. 日本財団日系スカラーシップ事業(日本財団)

日本財団は、居住国と日本との間の理解促進や居住国・地域社会の発展に貢献するための具体的な計画や夢を持つ若い日系人に対し、その実現のため日本留学の機会を与える事業を実施している。

本事業は、当該事業の留学生の募集・選考・受入準備・奨学金の支給等の業務を実施するものである。令和元年度においては、10カ国よりの留学生27名に対する業務を実施した。

## 8. 日系社会研修員研修事業(JICA)

本事業は、JICA日系社会研修員受入事業の受託であり、日系社会において人材の育成が求められている分野について、その研修の実施を協会が提案し、JICAの承認を受けて実施される。

令和元年度においては、次のとおり実施した。なお、資格要件を満たす研修員応募者が不足したコースについては、実施に至らなかった。

コース	研修コース	人数	研修期間	研修内容
集団	日系継承教育 教師育成Ⅱ	5	3ヶ月	初級全般の日本語及び日本文化活動指導研修
	日系継承教育 教師育成Ⅲa	9	1ヶ月	専門性の高い継承教育指導知識及び技術を習得する研修
	日系日本語学校の運営管理	6	1ヶ月	日系日本語学校を運営するための知識、経営者・管理者としての能力の向上及び日系継承語教育の知識を習得する研修
	食を通じた日系団体婦人部活性化	8	1ヶ月	食を通じた地域活性化のための婦人部活動に関する知識の習得
	和菓子を通じた日系社会活性化	6	1ヶ月	和菓子に関する知識を深め、より質の高い和菓子の製造技術を習得し、日系社会活性化に役立てるための研修
	着物を通じた日系社会活性化	5	1.5ヶ月	着物に関する一般的知識並びに、活用・普及・管理・保存の知識、技術を習得し、日系社会活性化に役立てるための研修
	ソーシャルビジネスと日系団体運営管理	5	1ヶ月	団体運営手法に関する知識やコミュニティビジネス、種々の事業に関する講義及び活動現場の視察
	日本文化活動コーディネーター育成	6	1ヶ月	日本文化活動事業に関する企画実施方法を習得する研修
	博物館における資料と展示技術の有効活用およびネットワーク強化	7	1ヶ月	移住資料館運営に関する全般的な知識を習得し、自国において実践普及するとともに日系資料館の連携促進を目的とする
	小計	57		
個別短期	日系医学Ⅰ	1	1ヶ月	日系医師育成を目的とした短期研修
	非営利団体の運営管理	4	1ヶ月	ドミニカ共和国の日系団体において次世代を担う人材の育成を目的とした研修
	小計	5		
		62		

## 9. 日系社会研修導入・実施支援事業(JICA)

### (1) 日系社会研修実施支援業務

本業務では、JICAが受入れる日系社会研修員の選考および来日のための必要資料の作成、また、来日後の日本国内における研修や生活の円滑化を図るためのオリエンテーション等を行う。

#### ① ブリーフィング・オリエンテーション業務

ブリーフィング業務では、生活諸手当、防災についてなど、研修員の生活全般についての説明を行った。オリエンテーション業務では日本について理解を深めてもらうため、日本の経済、政治・行政、歴史・文化、教育制度、海外移住について等の講義及び海外移住資料館見学を行った。

令和元年度においては、合計7回、184名に対して実施した。

#### ② 受入支援業務

令和元年度においては、400件の応募書類受付、および184件の来日のために必要な受入回答関連業務を行った。

### (2) 日本語研修実施業務

本業務は、日系社会研修員のうち日本語能力の不十分な者に対し、技術研修開始前に研修効果をより高めることを目的とした日本語理解力アップ重視の研修を実施するものである。令和元年度においては、155名の日系研修員が受講した。

## 10. 日系社会次世代育成研修事業(JICA・中学生招へいプログラム)

本事業は、北中南米諸国において日本語を学んでいる12才から15才の生徒のうち、成績優秀な者を24日間、日本に招へいし、日本語学習への意欲の向上、日本理解の促進、ひいては現地日本語教育の振興、人材育成に寄与せしめることを目的とし、中学校への体験入学及びホームステイ並びに見学研修を実施するものである。令和元年度においては、下記のとおり2回の研修を実施した。

第1陣 令和元年6月17日～7月10日

対象地域： 北中米地域 5カ国 研修生徒数：13名

(実際の参加地域： 北中米地域 4カ国 研修生徒数：13名)

第2陣 令和2年1月14日～2月6日

対象地域： 南米地域 5カ国 研修生徒数：36名

## 11. 日系社会海外協力隊支援事業(JICA)

JICAは、移住者・日系人社会を通じた技術協力事業並びに移住者・日系人社会支援事業の一環として、中南米の日系社会の一層の発展を図ることにより、その社会の

属する地域や国の発展を図ることを目的に、日系社会の要望に応じ、優秀な技術と奉仕の精神に富んだ日本の青年及びシニアのボランティアを2年間派遣する日系社会海外協力隊派遣事業を実施している。

本事業は、日系社会で活動予定の海外協力隊を対象に、派遣前に技術補完研修を実施するものである。令和元年度は、1次隊派遣者45名(3コース延べ)、2次隊派遣者24名、3次隊派遣者17名、計86名(延べ)を対象に技術補完研修を実施した。

## 12. 移住者・日系人支援にかかる運営管理業務(JICA)

### (1) 移住者の団体に対する助成金交付の実施促進業務

JICAは、中南米の日系団体が自主的に行う医療衛生対策、教育文化対策、施設等整備の事業に対して、助成金の交付による援助指導事業を行っている。

本業務は、当該助成金交付に係る、実施計画の作成と精算の事務手続に関する業務を実施するものである。令和元年度においては、33案件に助成金の交付が実施された。

### (2) 日系社会リーダー育成業務

JICAは、将来の日系社会のリーダーや日本と居住国との架け橋となり得る人材を育成することを目的に、我が国の大学院に留学する日系人に対し滞在費・学費等の手当を支給している。

本業務は、支給対象者の募集・選考・受入準備・手当の支給等の業務を実施するものである。令和元年度においては、6カ国よりの留学生20名に対し業務を実施した。

## 13. 日系人就労環境改善事業(厚生労働省)

本事業は、ブラジル等に居住する日系人が我が国における就労にあたり、適正な就労経路選択等のため、来日前に情報を提供することにより、我が国における適正な就労経路の確保及び適正に就労できる環境の整備を目的とするもので、厚生労働省からの委託を受け、伯国サンパウロ市に所在する(社)国外就労者情報援護センター(CIATE)に対する支援を中心とした業務を実施している。

令和元年度においては、下記の業務を実施した。

- 1) 来日前における日系人に対する情報の提供の実施
- 2) 現地相談窓口での日系人の就労経路の適正化に関する業務の実施
- 3) その他、日系人の就労環境改善に関する業務

## 14. 海外移住資料館管理運営事業(JICA)

JICA横浜センターは、我が国の海外移住の歴史及び移住者・日系人の現状に関する情報提供を目的として、センター内に海外移住資料館を設置している。

本事業は、当該資料館の管理運営に係る常設展示室・収蔵庫の保守、収集・収蔵資料にかかる学芸業務、企画展示・公開講座・その他イベント等関連業務、資料館案内、情報展示システム・情報検索システムの運用、図書資料室業務などを実施するもので、令和元年度入館者数は43,043人であった。

当協会は、上記業務のうち企画展示を含む研究・学芸部門業務を、平成30年度に引き続き受託実施し、令和元年度新たに追加契約となった ①邦字紙等日系人移住歴史関連資料の保有状況の現況調査・収集・保存・活用、②情報システム見直し・構築運用、③歴史資料等保有施設としての基準・規則の整備等の業務(研究・学芸部門その2)についても実施した。

## 15. 海外出張

### (1) 日本財団日系スカラーシップ選考面接(日本財団助成事業関係)

出張者: 日本財団日系スカラーシップ事業担当職員

出張先: ブラジル、ペルー

期間: 令和元年10月10日～10月19日

### (2) CIATEコラボラドーレス研修セミナー(厚生労働省受託事業関係)

出張者: 理事長、業務部長代理

出張先: ブラジル

期間: 令和元年11月6日～11月14日

### (3) 海外移住資料館その2 邦字紙資料収集・調査等

出張者: 業務部長、資料館業務室職員(邦字紙調査担当)

出張先: ペルー、アルゼンチン

期間: 令和2年2月21日～3月10日

以上